

～ なくそう死亡事故 ふせごう負傷事故 ～

# 農作業の現場は日々変化します

いつでも  
どこでも **安全を確認しよう**



農作業事故は、

-  その防止対策が非常に重要です。
-  もう一度、機械や施設、現場環境や作業行動の中にある危険を点検してください。
-  危険が確認できたら、速やかに改善して農作業事故を防止しましょう！

北海道農作業安全運動推進本部は農作業事故死ゼロを目指しています。



## 北海道農作業安全運動推進本部

北海道 JA北海道中央会 JA北海道信連 ホクレン JA共済連 JA北海道厚生連 北海道NOSAI  
北海道農業公社 北海道農業機械工業会 北海道クボタ 中セキ北海道 ヤンマーアグリジャパン  
三菱農機販売 日本ニューホランド エム・エス・ケー農業機械 北海道農機商業協同組合

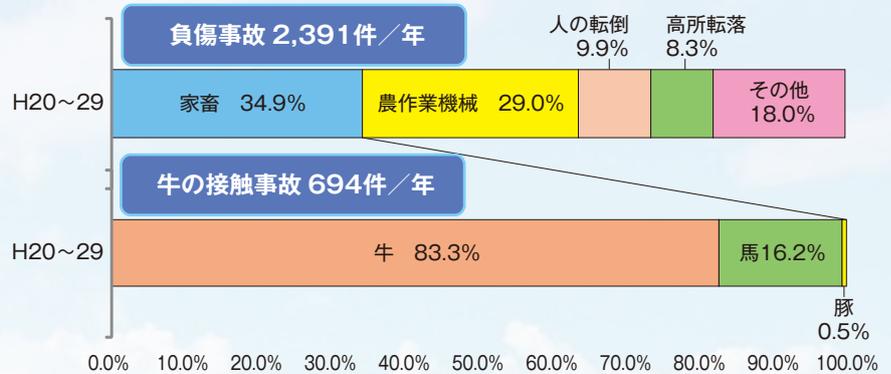
北海道農作業安全運動推進本部ホームページ

<https://agr-anzen.jimdo.com/>

# 牛との接触による負傷事故に 気を付けよう!!

## 〈負傷事故の事例〉

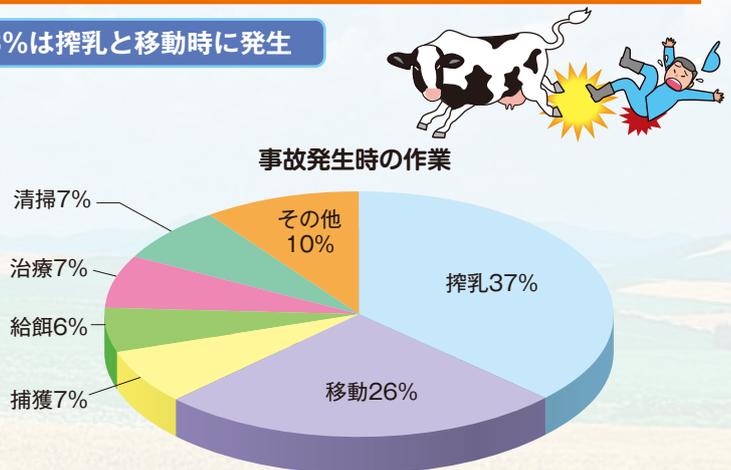
- ◆ 農作業の負傷事故は、過去10年間に23,917件発生しています。
- ◆ そのうち家畜によるものは34.9% (8,338件)となっており、中でも牛との接触による事故が83.3% (6,942件)を占めて突出しています。



## 〈事故の発生と原因〉

牛の事故の63%は搾乳と移動時に発生

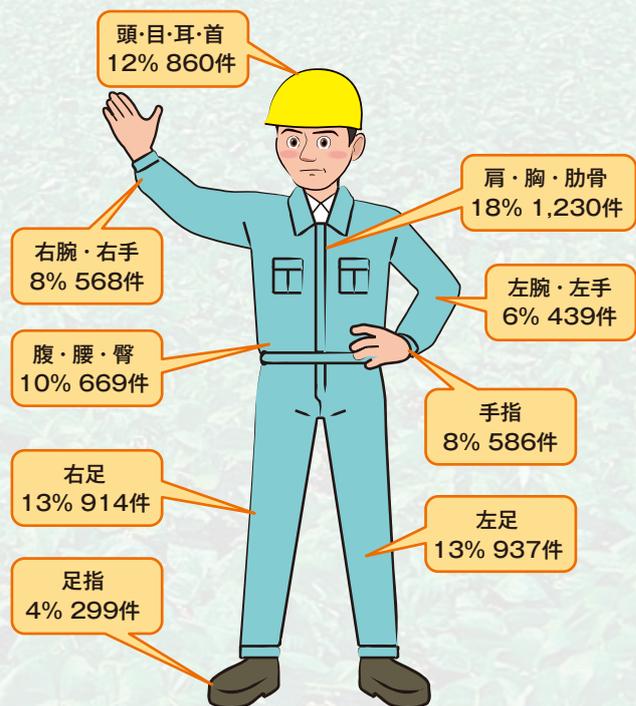
- ◆ 事故の発生は、搾乳と移動作業中に多発しており、全体の63% (4,364件)に達しています。
- ◆ 主な事故の要因は、作業側側の牛の行動に対する不注意、危険の認識不足や牛側の牛の性格、健康状態やストレスなどの他、牛舎環境などが影響しています。



## 〈負傷は経営を圧迫〉

- ◆ 牛による負傷事故は、牛に蹴られる、踏まれる、挟まれる、突かれるなどの形態で発生しています。
- ◆ 事故で負ったケガの部位は、腕・手・指、足・指が3,743件で全体の52%を占めています。
- ◆ 事故が起きると、医療費や労務費等の出費がかさんで家計を圧迫します。
- ◆ また、治療期間の長期化は、家族労働への負担が大きく、作業の遅延等による農産物の品質低下や、経営規模の縮小・廃止を余儀なくされるなど、農業経営の存続に与える影響は非常に深刻です。
- ◆ 危険に気付き、危険を取り除いて、作業環境の改善と安全な行動で事故のリスクを減らしましょう。

ケガは頭から足指まで全身で発生



# 農作業安全「MMH」運動に みんなで取り組もう

## M マナー

### トラクター等運転は、 交通ルールと運転マナーを遵守しよう

- 運転には、道路走行に必要な運転免許、作業に必要な受講証・免許を取得し、交通ルールを守り安全運転に努めましょう。
- トラクター等農耕作業用自動車の道路走行時には、一般自動車と路上で共存を図るために、保安装備を的確に付け、道をゆずる・迂回路を使う・使用道路時間帯に配慮する等、一般交通の妨げにならないよう心掛けてください。また、道を汚さない等の運転マナーも遵守しましょう。

プロ  
だね



技能講習を  
受けよう



お先に  
どうぞ



気を  
つけて!



## M マーク

### 点検・整備の励行と低速車マーク・ 反射テープ等の装着をしよう

- トラクター等農耕作業用自動車は、自動車検査制度（車検）の義務が免除されましたが、整備不良は重大な事故を招く恐れがあるので、自主的な点検・整備を励行しましょう。
- 一般の自動車との速度差が大きくて追突事故につながる恐れがあるので、低速車マークや反射テープ等を貼付けましょう。また、保安灯火等の装着等によって、後続車に早く認知され、事故が起きないように配慮してください。



低速車マーク  
反射テープ等を  
つけよう!



## H 保険

### 労災保険と傷害共済・自動車共済等 任意保険へ加入しよう

- 農作業事故・交通事故が発生すると、受傷した本人ばかりか農家経済全体に重大な影響を及ぼします。万一の場合に備えて労災保険や共済等任意保険に加入し、安心して農業経営に当たりましょう。

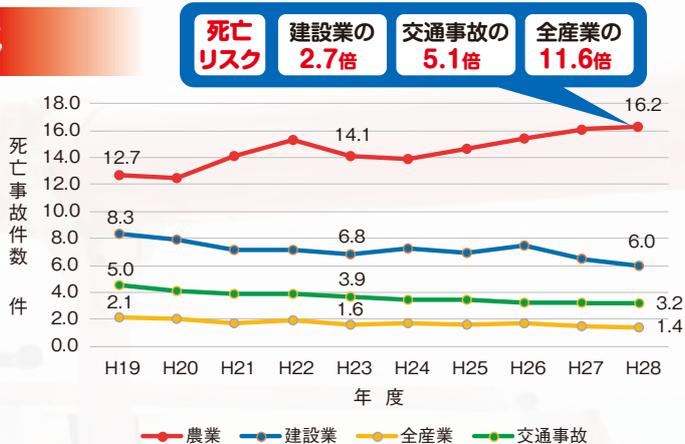


# 農作業の事故発生状況！

## 10万人当り死亡事故件数の推移

⚠ 10万人当りの死亡事故件数では、建設業、全産業、交通事故が減少傾向で推移する中、農業は増加傾向を示しており、死亡リスクが最も高くなっています。

⚠ 事故情報やヒヤリハットを共有し、農場や農作業に関するリスクが確認できたら、それらのリスクを改善して農作業事故を防ぎましょう。



資料：死亡事故件数と人口から算出。  
死亡事故件数は、農林水産省生産局、警察庁交通局、厚生労働省安全課調べ。  
総人口及び労働者数は、農林水産省統計部「農業構造動態調査」の農業就業人口、総務省統計局調べ。

## 農作業事故件数の推移

⚠ 北海道における死亡事故件数は、平成26年以降に減少傾向を示していましたが、29年度は増加となりました。

⚠ 負傷事故件数は、ほぼ横ばいで推移していましたが、29年度は減少傾向を示しています。

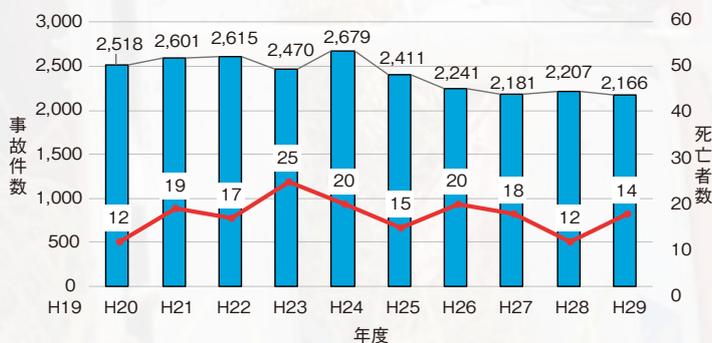
⚠ 事故率は、農業就業人口が毎年減少していることから高まっており、被害者の多くは、農業の中心的な担い手となっている60歳以上の高齢者に集中しています。

死亡事故は増加傾向

死亡者 172名

負傷事故は減少傾向

負傷者 23,917名



## 分類別事故件数の推移

⚠ 分類別事故件数は、平成20年以降、家畜の事故が農業機械の事故を大幅に上回って推移しています。

⚠ 家畜では、牛との接触によるものが最も多く、農業機械では、トラクター操作中に事故に遭うケースが相次いでいます。

家畜に踏まれる、蹴られる、挟まれるなどで

8,344件 34.6%

農業機械の転倒転落、落下、挟まれるなどで

7,057件 29.3%

人の転倒、高所からの転落、その他を含めて

8,688件 36.1%

